液晶モニタアーム(4面)(CR-LA1008) 組立説明書

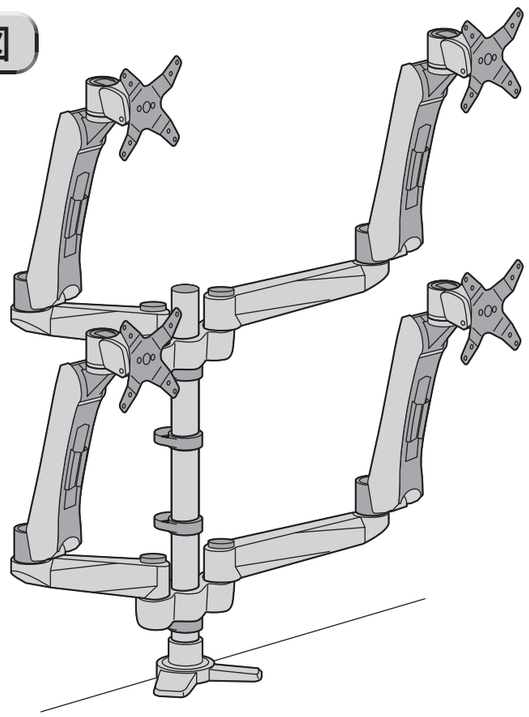
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
このモニタアームは組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

組立説明書は組立て後も大切に保管してください。

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

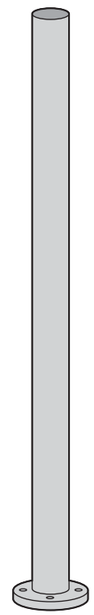
★用意していただくもの・・・・・
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）
プラスドライバー

完成図

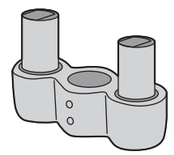


総耐荷重 40Kg(各アーム2～10Kgずつ)

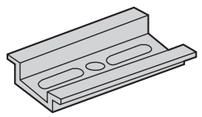
組立て部品



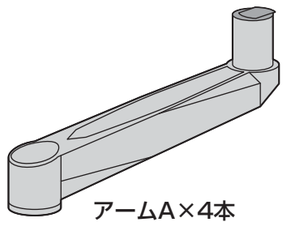
支柱×1個



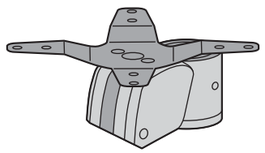
ホルダー×2個



プレート×1個

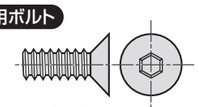


アームA×4本

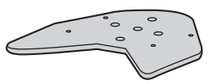


ブラケット×4個

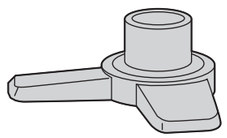
使用ボルト



ボルト×10本〔M5×14〕

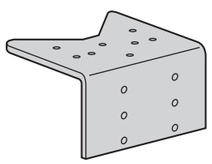


ベース×1個

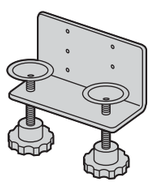


カバー×1個

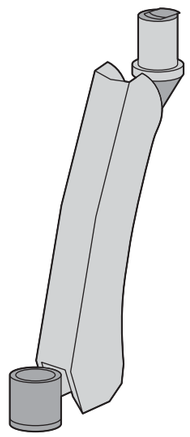
クッションシール×1枚



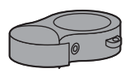
クランプ(上)×1個



クランプ(下)×1個



アームB×4本



ストッパー×4個
(2個はケーブルフックとして使用します。)

ノブボルト×16個

六角レンチ(大)×4本

六角レンチ(小)×4本

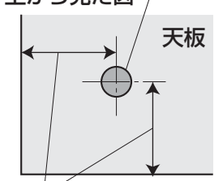
グロメット固定の場合

※取付け可能な天板の厚さは20mm～45mmです。

1 天板に支柱を取付けます。

① 天板に穴を開けます。
直径10～75mmまで対応可能ですが、直径10～30mmの範囲内を推奨します。

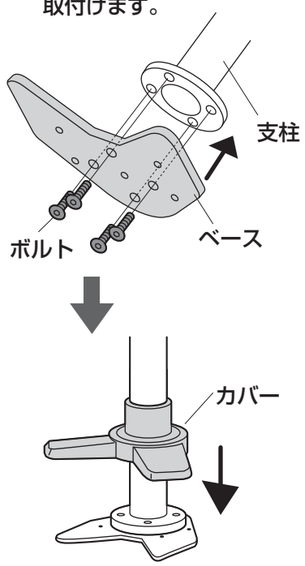
上から見た図



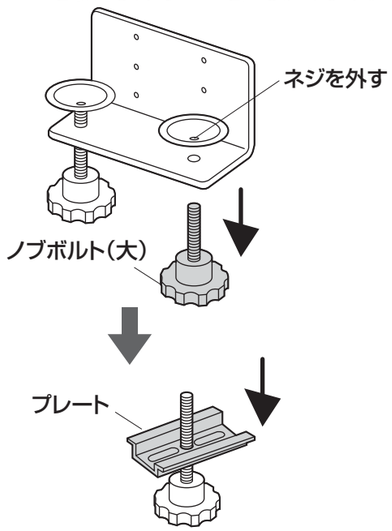
※天板の端から70mm以上離してください。

※あらかじめ天板にあるケーブル孔などを利用することも可能です。（穴が上記の範囲内であることを確認してください）

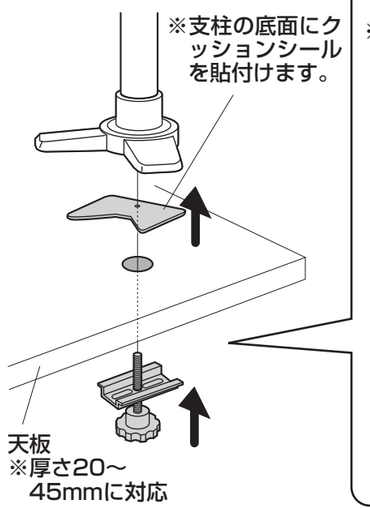
② 支柱にベースとカバーを取付けます。



③ クランプ(下)のノブボルト(大)1個を取外し、プレートを差し込みます。

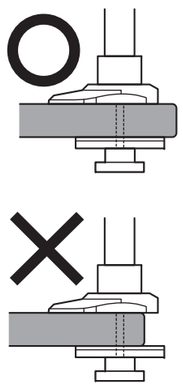


④ 天板に取付けます。



横から見た図

※ベースとプレートが天板から出ない位置に取付けてください。



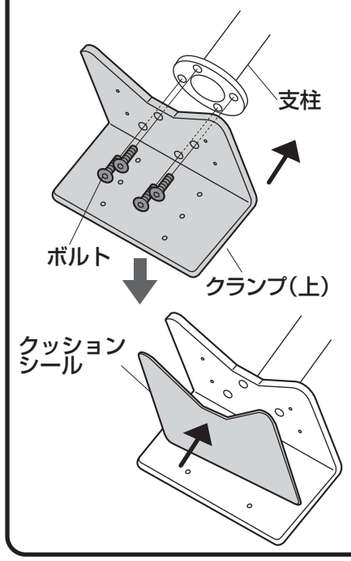
※次は手順③に進みます。

クランプ固定の場合

※取付け可能な天板の厚さは20mm～90mmです。

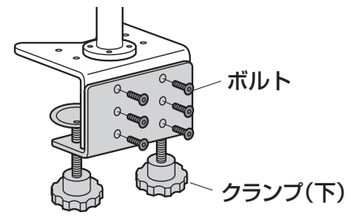
1 支柱にクランプを取付けます。

① 支柱にクランプ(上)とクッションシールを取付けます。

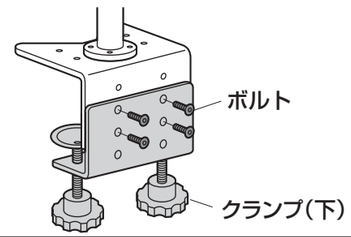


② クランプ(下)を取付けます。

※取付ける天板の厚さが65mm以下の場合はボルト6本で取付けます。



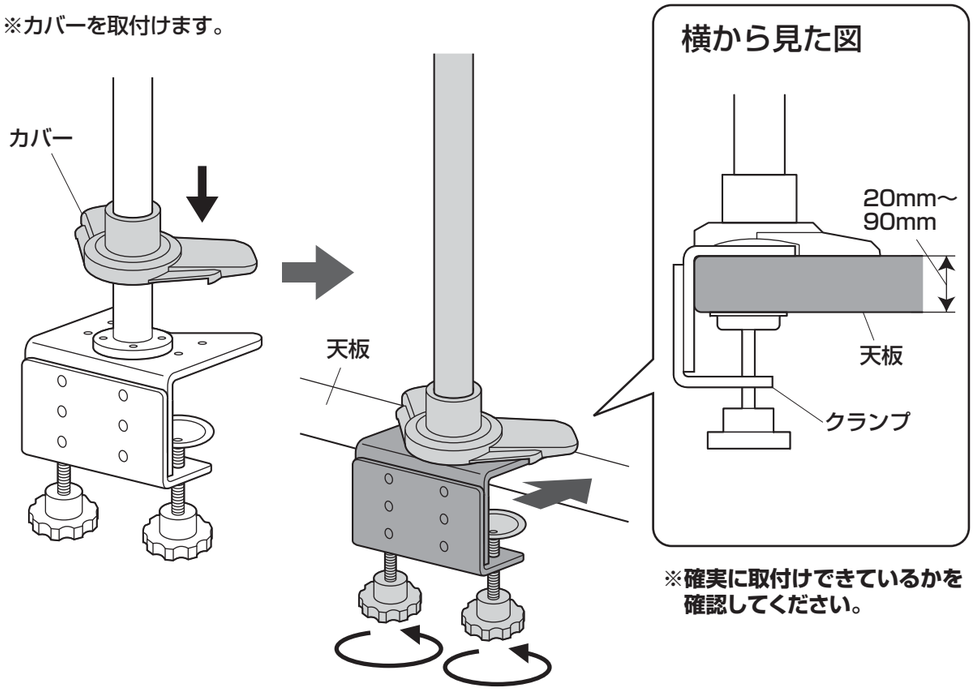
※取付ける天板の厚さが65mm以上の場合はボルト4本で取付けます。



② 天板に支柱を取付けます。

※取付け可能な天板の厚さは20mm～90mmです。

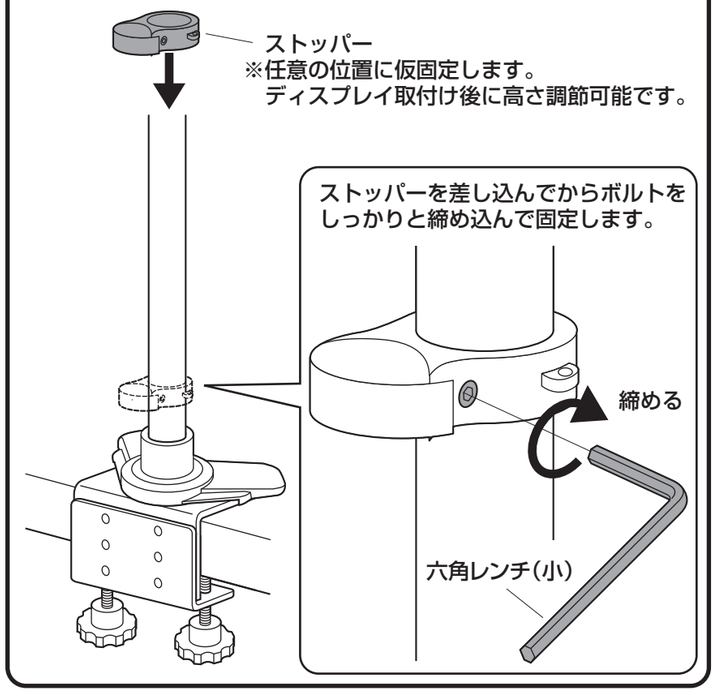
※カバーを取付けます。



※確実に取付けできているかを確認してください。

③ ストッパーを取付けます。

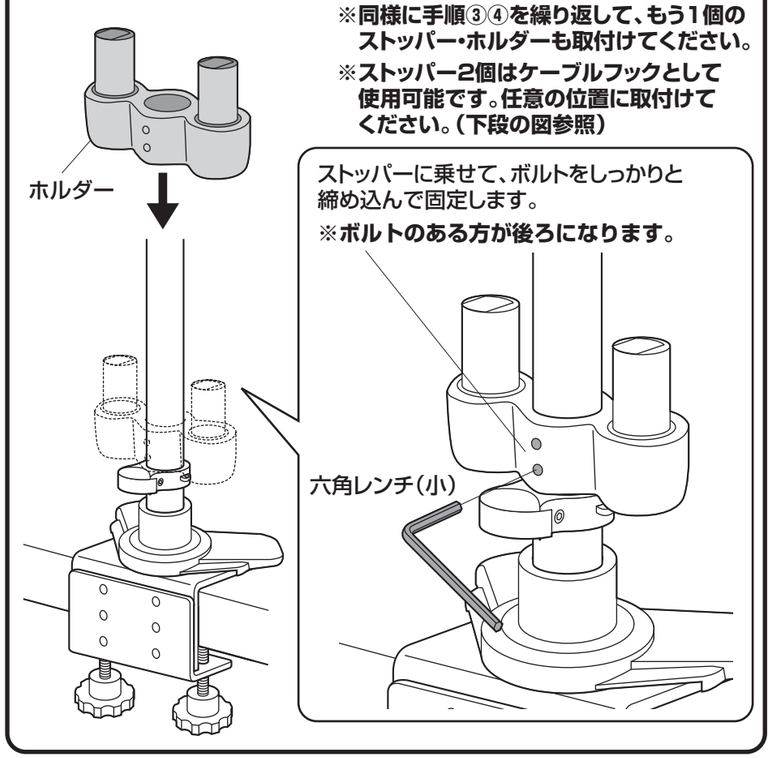
※以降の図はクランプ固定の場合ですが、グロメット固定の場合も同様に組立ててください。



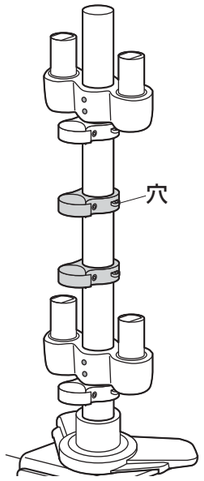
④ ホルダーを取付けます。

※同様に手順③④を繰り返して、もう1個のストッパー・ホルダーも取付けてください。

※ストッパー2個はケーブルフックとして使用可能です。任意の位置に取付けてください。（下段の図参照）



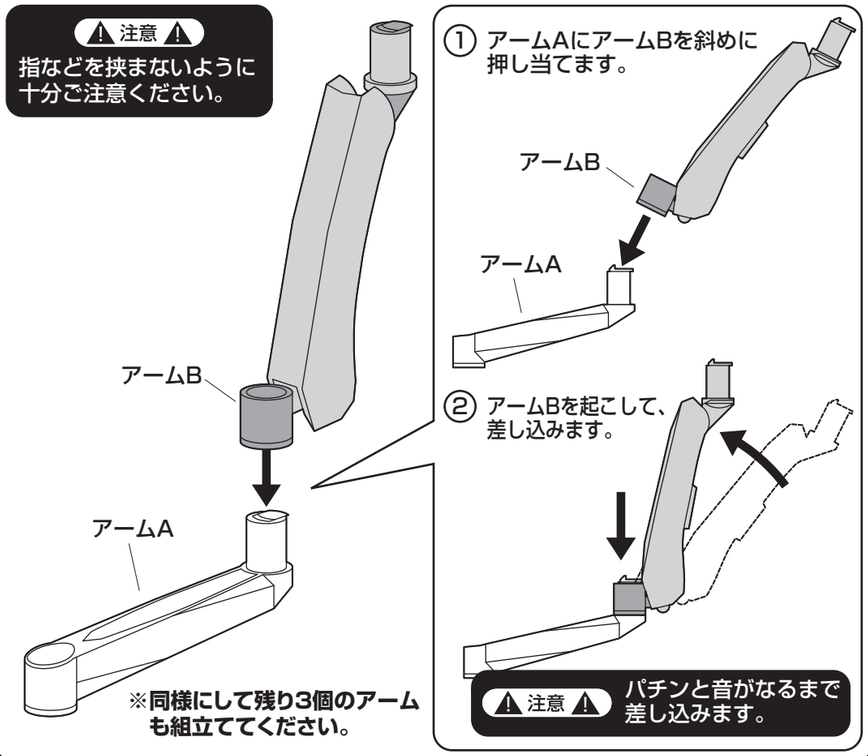
ストッパー・ホルダーを取付けた図



ストッパー2個はホルダーを乗せます。残り2個はケーブルフックとして使用します。ストッパーの穴には六角レンチを差し込んで保管することができます。

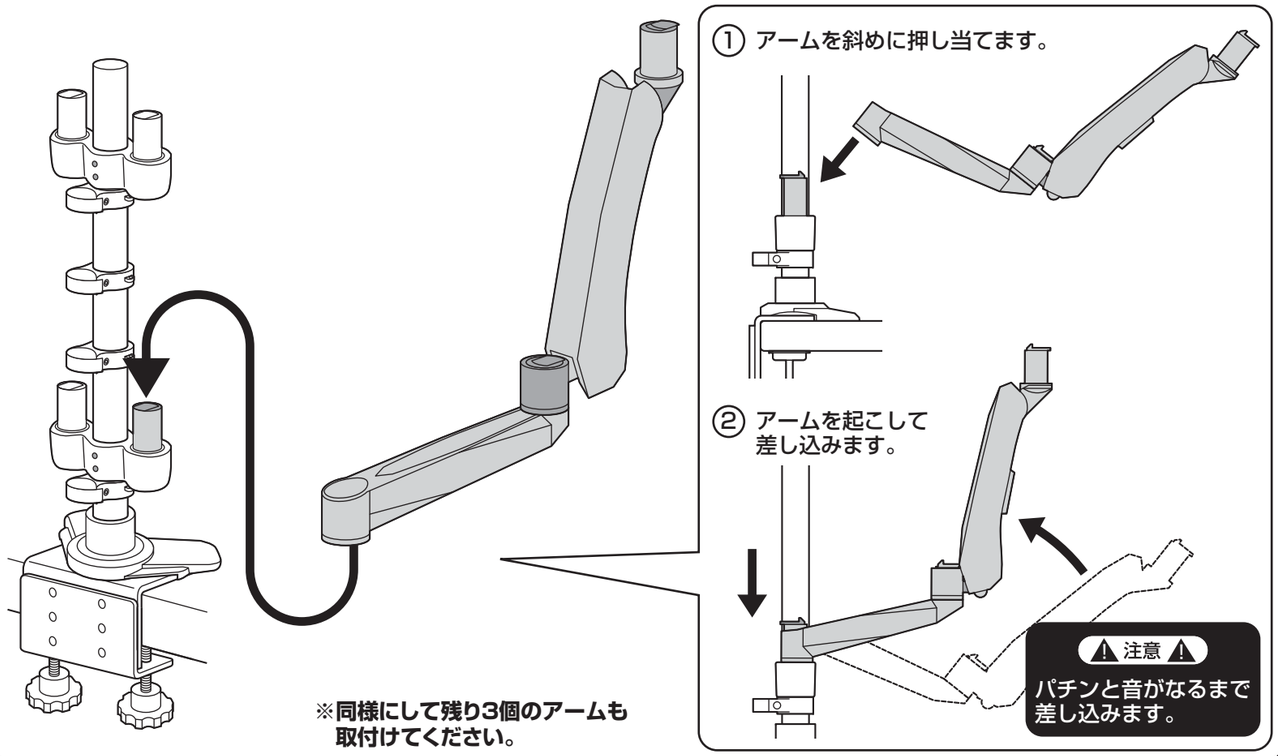
⑤ アームAにアームBを取付けます。

⚠注意⚠
指などを挟まないように十分ご注意ください。



※同様にして残り3個のアームも組立ててください。

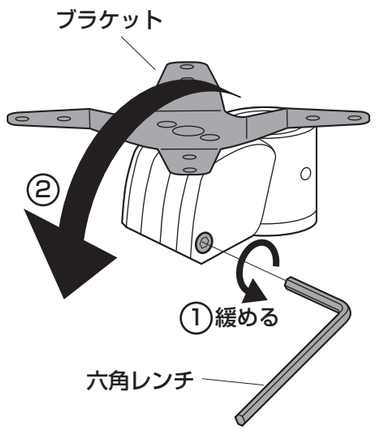
⑥ アームを取付けます。



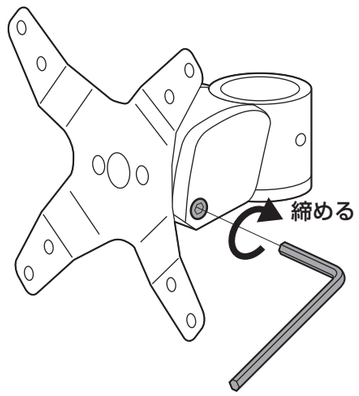
※同様にして残り3個のアームも取付けてください。

⑦ ブラケットの向きを変えます。

ボルトを緩めてブラケットの向きを90°変えます。



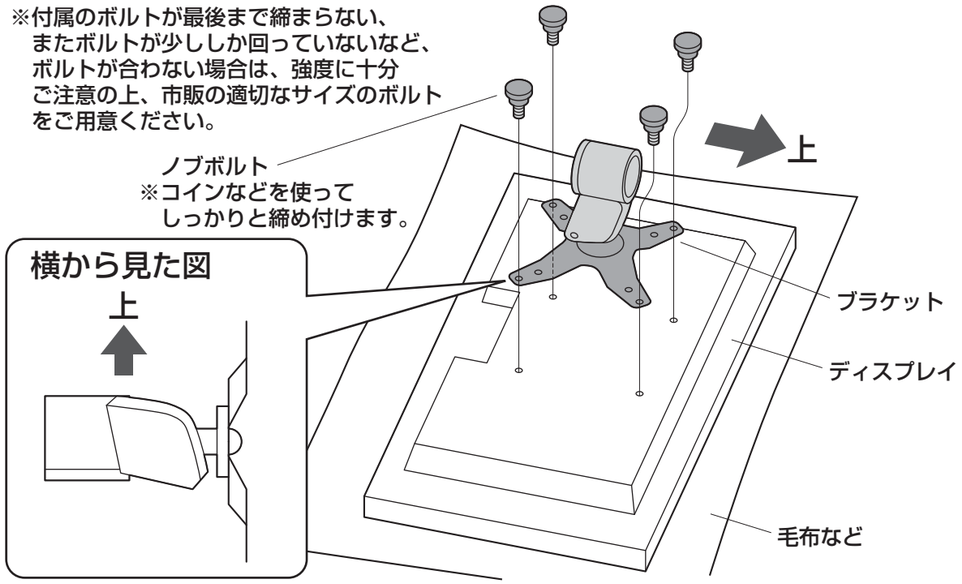
ボルトを締め付けて固定します。



⚠注意⚠
可動部分で指などを挟まないように十分ご注意ください。

⑧ ブラケットをディスプレイの裏面に取付けます。
※取付け可能なディスプレイの重量は2～10kgまでです。それ以上のディスプレイは絶対に取付けないでください。

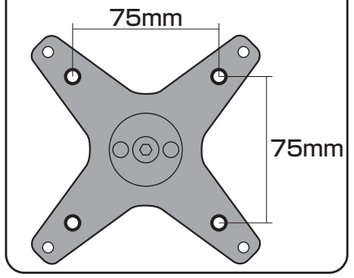
※付属のボルトが最後まで締まらない、またボルトが少ししか回っていないなど、ボルトが合わない場合は、強度に十分ご注意の上、市販の適切なサイズのボルトをご用意ください。



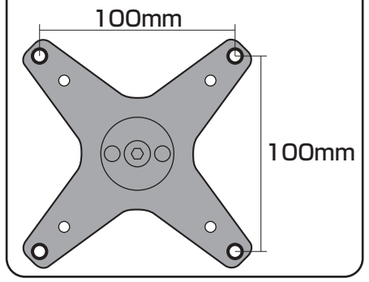
⚠注意⚠ 毛布などを下に敷き、ディスプレイへの傷や破損に十分ご注意ください。

⚠注意⚠ ディスプレイに付属しているスタンド類は取外してください。
スタンド類の取外し方法はディスプレイの取扱説明書をご参照ください。

※ネジ穴ピッチ
75mm×75mmの場合
内側の穴を使います。

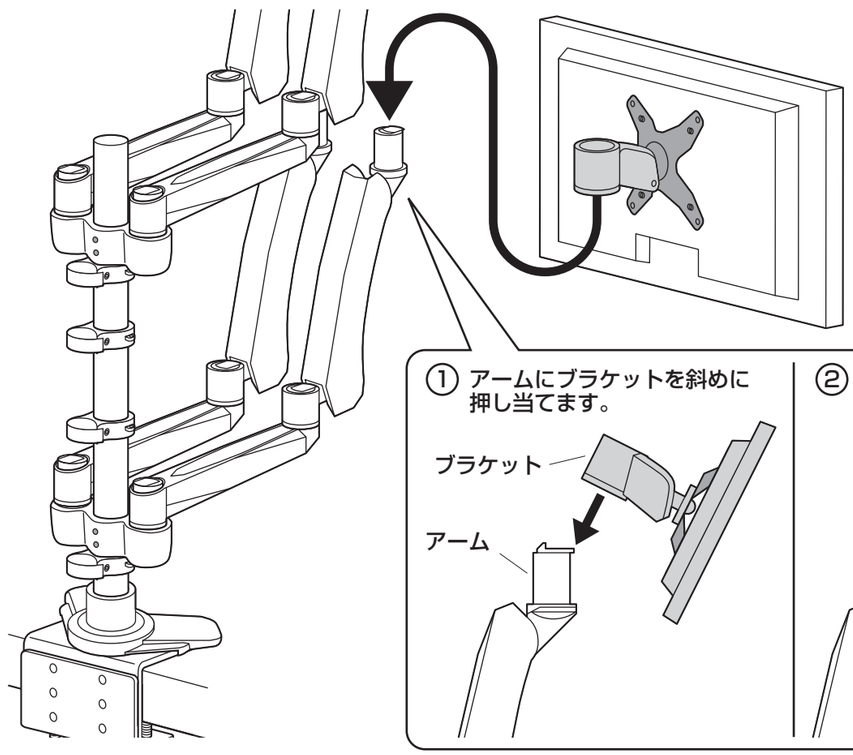


※ネジ穴ピッチ
100mm×100mmの場合
外側の穴を使います。



⚠注意⚠ ボルトが長すぎるとディスプレイを破損する場合があります。また、ボルトが短すぎるとディスプレイがしっかりと固定できず脱落する恐れがあります。取付けに適したボルトの長さは各ディスプレイによって異なります。必ずディスプレイの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどでご確認の上、取付けるボルトの長さを決めてください。

⑨ アームにブラケットを取付けます。

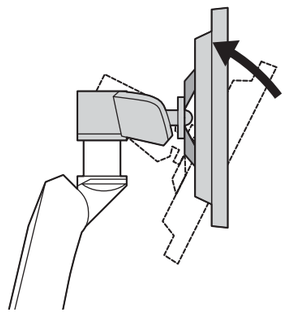


⚠注意⚠
この作業は必ず大人2人以上で行ってください。

⚠注意⚠
指などを挟まないように十分ご注意ください。

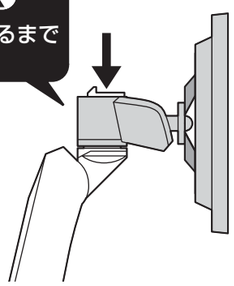
① アームにブラケットを斜めに押し当てます。

② ブラケットを起こします。

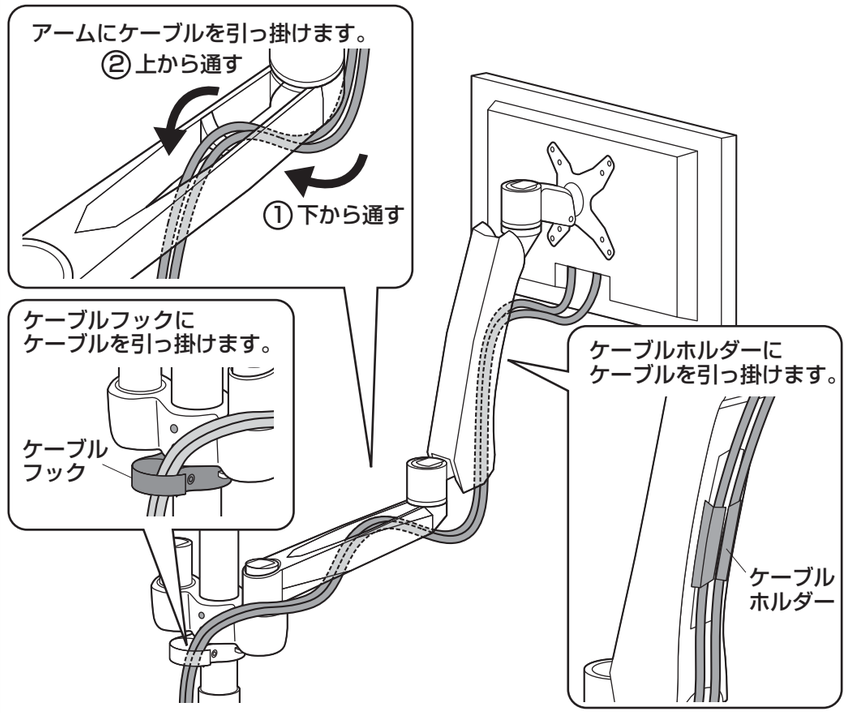


③ アームにブラケットを最後まで差し込みます。

⚠注意⚠
パチンと音がなるまで差し込みます。

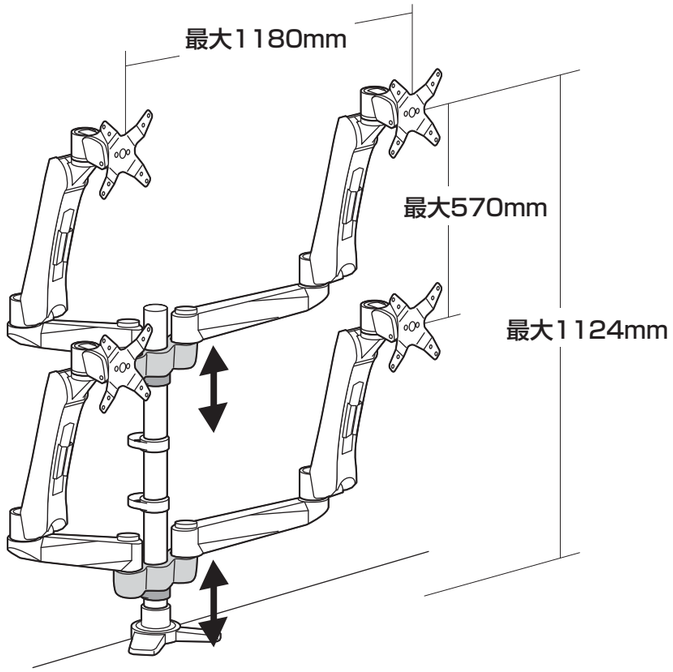


⑩ ディスプレイにケーブルを取付けて完成です。



※同様に手順⑦～⑩を繰り返して、残り3個のアームにもディスプレイを取付けてください。

アーム各部の可動範囲、及び固さ調節方法

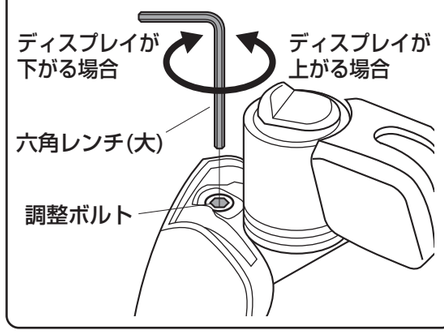


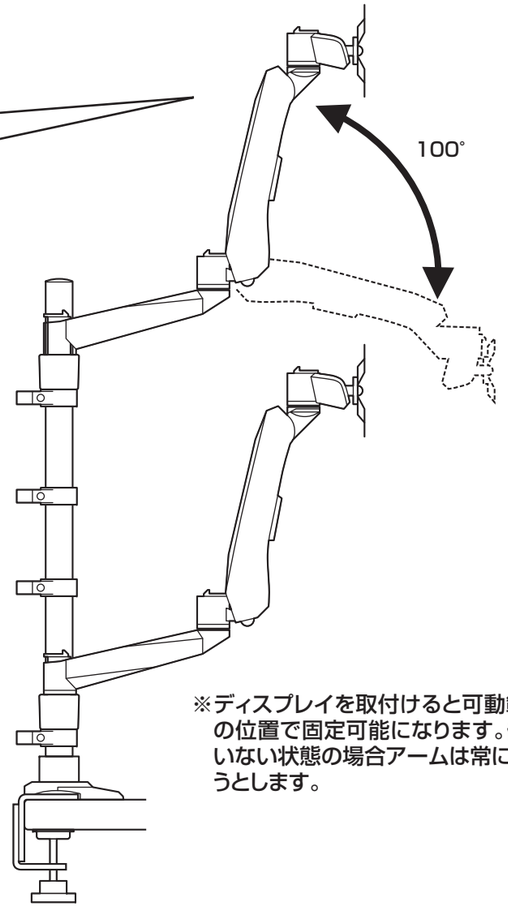
ホルダー・ストッパーの位置調節により、高さ変更が可能です。
※アームを外してから行ってください。

⚠ 注意 ⚠
可動部分で指などを挟まないように十分ご注意ください。

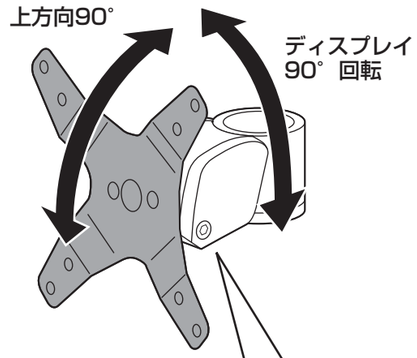
⚠ 注意 ⚠
位置調節後はしっかりとボルトを締め付けてください。

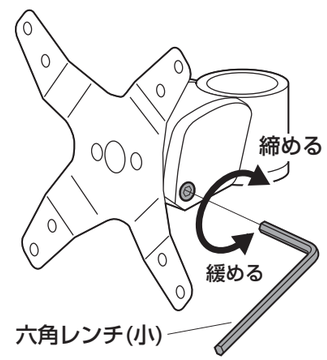
ディスプレイの高さがうまく固定されない場合は、アームのボルトを回して調節します。





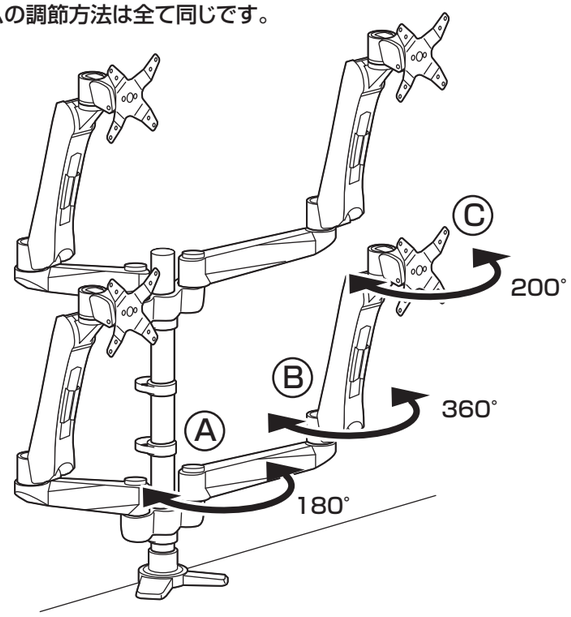
※ディスプレイを取付けると可動範囲内の任意の位置で固定可能になります。何も取付けていない状態の場合アームは常に最上位に戻ろうとします。





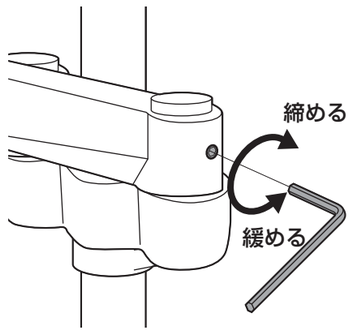
ブラケットの動きが軽すぎたり、重すぎる場合は六角レンチでボルトを回して調節します。

※天板の外にディスプレイが出る状態では使用しないでください。
※アームの調節方法は全て同じです。

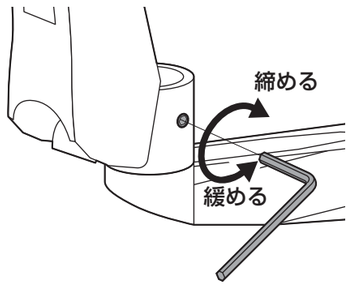


アームの動きが軽すぎたり、重すぎる場合は六角レンチ(小)でボルトを回して調節します。

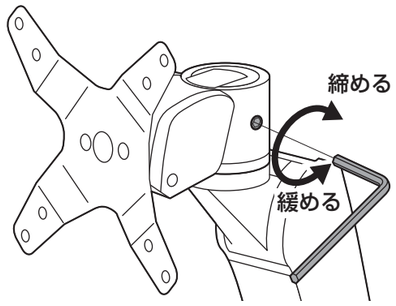
Ⓐ



Ⓑ

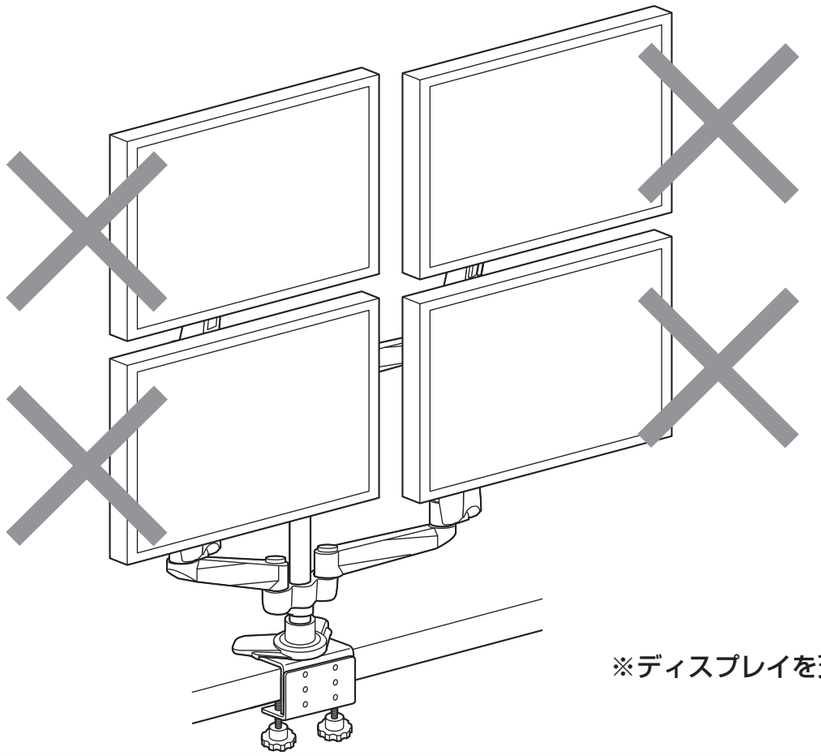


Ⓒ



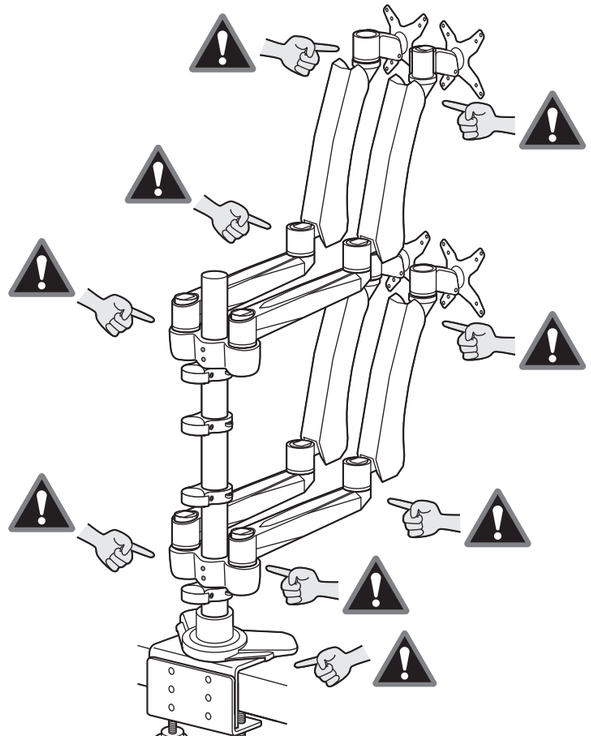
安全の為に注意していただく点

落下する恐れがあるので、天板の外にディスプレイが出る状態での使用はさけてください。

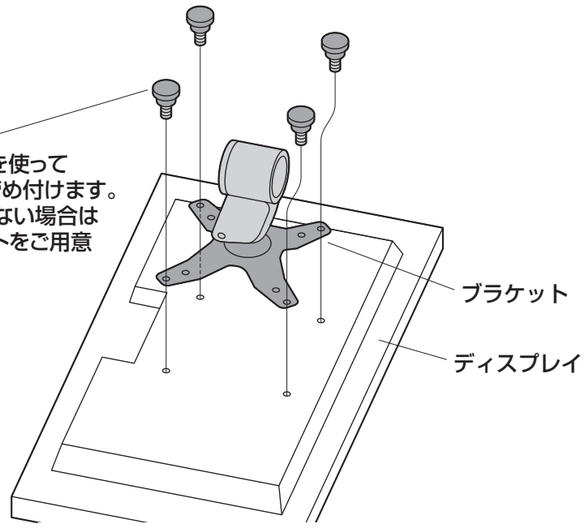


※ディスプレイを天板の外に出さないでください。

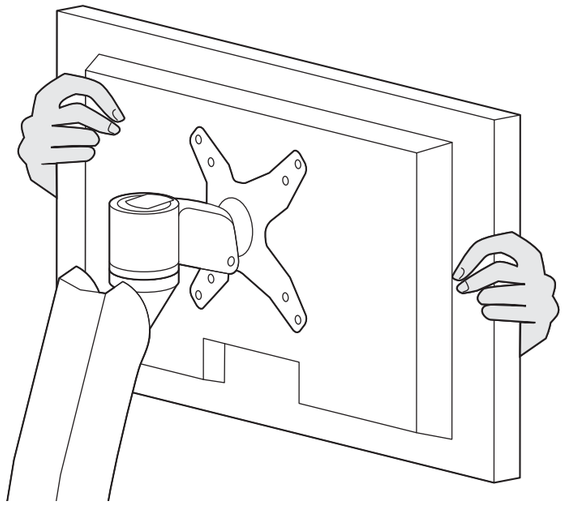
可動部分で指をはさまない様に注意してください。



ディスプレイは4本のボルトでしっかりと固定してください。



ディスプレイの調整は必ず両手で行い、片手での使用はおやめください。



その他

- 本製品を、振動のある所に置かないでください。
- 2～10kg以外のディスプレイは取付けないでください。
- アーム部に物を置かないでください。
- 室温の元で操作してください。

以上の点に注意して取扱ってください。

製品に関するお問い合わせ

製品の品質管理には細心の注意をはらっていますが、万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせなどございましたら、お買求めの販売店又は右記までお気軽にご相談下さい。

12/09/JMDaCn

サンワサプライ株式会社

岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1
TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8
TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
http://www.sanwa.co.jp/